

しんおんせん

議会だより



(3歳児)



(5歳児)

げんきにプールあそび (明星認定こども園=諸寄)

条例・請願・意見書	2
補正予算	6
公営企業会計決算認定	8
期末手当引き下げ(臨時会)	10
委員会報告	11
ここが聞きたい	15
ふるさと寄稿	22

新温泉議会だよりは、四季折々の色で印刷をしております。今号は海と空のブルーです。

国民健康保険税 基金 1億円繰入

医療分1人当り 40,880円

賛成 15 : 反対 1 (欠席 2)

◎国民健康保険税の税率

区分	医療分	介護分	高齢者支援分
所得割	4.36%	1.21%	1.95%
資産割	18.70%	5.18%	8.64%
均等割	16,700円	4,700円	9,600円
平等割	14,600円	4,100円	5,500円

**介護分の限度額
10万円に引き上げ**

地方税法の改正により、介護分の限度額9万円が10万円に改正され、併せて基金から1億円を

◎平均額と最高限度額

(単位：円)

区分	医療分	介護分	高齢者支援分
1人 (前年度比較)	40,880 (Δ2,659)	11,406 (Δ 419)	23,113 (Δ 824)
世帯 (前年度比較)	75,929 (Δ5,308)	21,186 (Δ 878)	30,430 (1,020)
最高限度額	47万	10万	12万

問 繰入して国保税の税率を改正しました。

答 基金繰入の根拠は、医療費の動向、所得割が約1,200万円減少する見込みのためである。

第24回(平成21年6月)定例会が6月9日に招集され、19日まで11日間の会期で開催しました。

町長から報告案4件、条例案5件、事件案1件、契約案1件、平成21年度補正予算案9件、決算認定案3件の提出があり、追加議案として契約案1件が提出されました。

請願書1件、意見書案1件は、総務教育常任委員会に調査・審査を付託しました。

一般質問は、6月9日・10日に行われ、10名の議員が町政全般について質問しました。



健康診査で早期発見早期治療 (夢ホール会場)

問 7割・5割・2割軽減世帯の動向は。

答 国保世帯2,405世帯の内1,193世帯(49・6%)が軽減世帯である。

問 町民の収入が減少しているときこそ、思い切った基金繰入を。

答 新型インフルエンザの流行も予測され、運営状況をみて、次年度以降判断したい。

個人住民税

住宅ローン控除

賛成 15 : 反対 2
(欠席 1)

地方税法の改正に伴い、税条例を改正しました。

◎住宅ローン控除

限度額 97,500円

* 所得税から控除しきれなかった部分を住民税から控除する。

問 富裕層のための改正でないのか。

答 借入金で住宅取得される方の支援策である。

浜坂農産物処理 加工施設を廃止

全員賛成

施設が老朽化しており処分するため、「浜坂農産物処理加工施設条例」を廃止し、「使用料徴収条列」から使用料を削除する改正をしました。

問 19年経過し、基準耐用年数16年を上回って入るが、施設の設置目的は達成したのか。

答 商品開発の面で成果をあげてきた。

問 付加価値を高めるための施設は必要ないのか。

答 既存の施設の活用で対応できる。

問 土地は原状回復して返すのか。

答 原状回復して返す契約になっているが、地権者から建物を譲り受けたいと申し出があり、現在のままで良いとのことである。

浜坂中学校の耐震補強・大規模改造

落札業者の技術者数…点検不足 請負契約締結を否決

賛成 8 : 反対 10

浜坂中学校耐震補強・大規模改造工事等請負契約の締結は、落札業者の特別共同企業体の構成員の技術者が不足しており、審議ののち、賛成少数で否決になりました。

*契約方法	指名競争入札
*契約金額	775,950,000 円
*契約相手	川嶋・山陰造園土木 特別共同企業体

設計図書の不 誰の責任か

問 入札執行が遅れたのは、設計に問題があったからか。

答 指名業者から、入札通知した設計図書では見積もりが不可能である旨の意見があり、追加図書が6月4日につきあがり、県に協議した後、6月15日に入札した。

問 設計士の債務不履行は、設計図書の追加だけで良いのか。信用失墜の責任はないのか。

答 3月31日に設計図書はいたっており、図面の補充は手直して対応した。

問 予備指名でBグループは何社指名したのか。

答 Aグループ8社、Bグループ17社を予備指名した。



浜坂中学校耐震補強・大規模改造 南校舎から着目

技術者基準点検不足 地元企業の育成

問 国土交通省の技術者配置基準では、5,000

万円以上は技術者が2名必要でないのか。

答 山陰造園土木には、

建築士が1名おり、地元企業として施工能力を高めていた。

問 特別共同企業体を選定する段階で、技術者

の不足を点検できなかったのか。

答 地元企業の育成で、50点以上の町内業者を審査し、上位特例を適用し選定した。

問 地元企業の育成は必要であるが、法令の範囲内で行うべきであり、本契約までに2人体制にするというが、現時点では違法でないか。

答 契約して、技術者の届け出の手続きになる。本契約までの技術者の手立てに理解を得たい。

◎動議（岡本英樹議員）
当局は、違法性を認めており、議会運営委員会を開いて、議案の撤回を求めらる。

◎議会運営委員長報告
このまま議事を進行することに決定した。

◎動議（小林俊之議員）
現時点で法律違反である。詳細に調査するため、総務教育常任委員会に付託して継続審議を求めらる。

◎動議の採決
賛成 9 : 反対 9
可否同数につき、議長採決の結果付託しないことに決定した。

反対討論（西脇 明議員）

地元企業の育成の観点から、入札参加者選定基準にもとづき、Bグループを17社に広げて入札執行した点は理解した。法令遵守の立場から、現時点で要件を満たしていない事実を議決に付すこと自体が問題である。落札JVの1社より辞退の相談に向いたとかの経過を聴くなかで、本契約に至るまでに資格要件を満たして提案すべきである。

本来この議案は取り下げるべきで、万が一、可決後、本契約ができない状況が発生する可能性はどうかを含め、現時点で違法性があれば議会として議決すべきでなく、本議案に反対する。

山陰海岸ジオパーク

みほのうら

御火浦交流・学習拠点施設 (三尾コミュニティセンター)

請負契約可決

賛成 12 : 反対 2 (欠席 4)



旧御火浦小学校取りこわしに着手

御火浦交流・学習拠点施設改築工事請負契約の締結については、審議のち、賛成多数で可決しました。

*契約方法 指名競争入札
*契約金額 86,100,000 円
*契約相手 株本建設工業株

最低制限価格の公表は

問 5月1日から入札制度に最低制限価格を導入しておきながら、5月18日の所管の委員会に示さなかったのか。
答 内部の契約事項と考え、委員会につないでいなかった。
問 最低制限価格は、入札後に公表する答弁が

最低制限価格の基準は

問 最低制限の基準はあるのか。
答 公共工事の基準の範囲内で定めている。
問 公共工事が減り、業者間の過当競争になりはしないか。
答 最低限度価格を設けてからは、制限価格を下回る入札者が出ており、ダンピングの予防になっている。
問 完成後の管理方法は地域に譲与するのは

過疎計画に御火浦交流・学習拠点施設を追加

賛成 9 : 反対 6 (欠席 3)

あったが、入札公表調書にのせないのか。
答 公表する答弁をしたが、他市町の状況を聞くと競争原理が働かなくなるこのことであり、入札審査会で協議して公表しないことにした。
問 三尾地区と指定管理の協議をしている。町の施設であり、地域に譲与しないか。
答 御火浦交流・学習拠点施設に対する国庫補助事業が変わったため、国から過疎地域自立促進計画を変更するよう指導を受けて変更しました。

浜坂上水道給水人口 7,800人に変更

全員賛成

浜坂上水道の新市水源改良に伴う認可変更を行うため、過剰投資にならないよう給水人口を変更しました。

◎給水人口
7,800人
(変更前)
10,000人

問 将来を見込んでの給水人口か。
答 施設規模は人口によって決まるので、過大投資にならないよう見直しを行う。
問 緊急時に備え、二日市配水タンクの予備の設置の考えはあるか。
答 新しい配水池・水源計画は、20億円程度の計画があり、二日市配水タンクの耐震化と併せて検討していく。

夢公社の事業報告 賛成多数で承認

賛成9：反対8
(欠席1)

（株）温泉町夢公社の第21期営業報告が行われ、質疑ののち賛成多数で承認しました。

売上高	234,210,630 円
売上原価	49,676,021
販売・管理費	184,494,873
営業利益	39,736
営業外収益	1,557,364
経常利益	1,597,100

◎配当金（年3%）
1株当たり1,500円

問 雇用の場の確保、地域活性化の柱として、歴史的役割を果たしてきた。

答 会社らしく進化させることを考えるべき。経営分析をして運営に当たっている。地域に貢献し、喜ばれる会社に努力している。

請願

次期定数改善計画の実施と義務教育費国庫負担制度の2分の1復元と堅持に関する件の請願

請願者 美方郡新温泉町湯字大城1684-29

兵庫県教職員組合美方支部

支部長 中尾 寿

【請願の趣旨】

- ① 「子どもと向き合う時間の確保」をはかり、きめの細かい教育の実現のために、義務制第8次・高校第7次教職員定数改善計画を実施すること。
- ② 教育の自治体間格差を生じさせないために、義務教育費国庫負担制度について、国庫負担を2分の1に復元することを含め制度を堅持すること。
- ③ 家庭の所得の違いによって子どもたちの教育や進路に影響が出ないよう、就学援助制度を拡充すること。また、そのための国の予算措置を行うこと。あわせて、就学金制度について「貸与」から「給付」方式に改善すること。
- ④ 学校施設整備費、就学援助・奨学金、学校・通学路の安全対策など、教育予算の充実のため、地方交付税を含む国の予算を拡充すること。

紹介議員 高橋邦夫

調査・審査結果

*総務教育常任委員会において採択しました。
*本会議においても全員賛成で採択しました。
意見書（案）の提出議員 寺谷 健
賛成議員 岡本和雄・丸山諄二
意見書は、内閣総理大臣をはじめ関係大臣に提出します。

議員発議

地方財政の充実・強化を求める意見書（案）

提出議員 田中要

賛成議員 寺谷健・丸山諄二

- ① 医療、福祉分野の人材確保をはじめとするセーフティネット対策の充実、農林水産業の振興、環境対策など、今後増大する財政需要を的確に取り入れ、2010年度地方財政計画・地方交付税総額の規模を拡大すること。
- ② 地方財源の充実・強化を図るため、国・地方の税収配分5：5を実現する税源移譲、地方消費税の充実、国の直轄事業負担金の見直しなど、抜本的な対策を進めること。
- ③ 当面の財政措置として導入された地方交付税（地域雇用推進費）、雇用対策関連交付金などに相当する規模を一般財源として恒久的に地方財政計画・地方交付税措置に取り入れ、自治体が安心して雇用対策に取り組めるような環境整備を行うこと。
- ④ 景気対策を通じて拡大する公共事業に対して、地方負担を増加させることのないよう十分な財政措置を講じること。

調査・審査結果

*総務教育常任委員会で採択しました。
*本会議でも全員賛成で採択しました。
意見書（案）の提出議員 岡坂峰雄
賛成議員 小林一義・岡本和雄
意見書は、内閣総理大臣をはじめ関係大臣に提出します。

平成21年度 活性化対策予算 補正しました

一般会計・特別会計

一般会計の主な支出 (単位：千円)

地域活性化・経済危機対策	351,705
学校 I C T 環境整備	9,223

特別会計 (単位：千円)

会計区分	追加	総額
国民健康保険	△ 879	1,933,183
介護保険	△ 95	1,244,545
下水道	1,498	1,002,223
浜坂病院	△ 17,609	1,432,025

一般会計収入・支出それぞれ
4億62万円追加し、総額を106
億562万円とする提案があり、
質疑ののち賛成多数(10:5)で可
決しました。(欠席3)

各特別会計は、賛成多数で可決
しました。

質疑

教育委員会

問 温泉地域の小学校統
廃合について地域との
合意はできたのか。

答 7会場で説明会を持
ち、段階的統合に一定
の理解を得た。

問 統合計画の変更は正
式な会議で決定してい
ない。

答 教育委員会の議事録
には載っていないが、
議会で説明している。

問 複式学級の弊害を解
消するのが統廃合とは
安易すぎる。

答 複式より単式であ
り、条件を整えていく。

問 長期見直しを持った
教育行政ではない。

答 見直しを持った改築
ができていないが、次
の段階に進む。

問 温泉小学校の新校舎
は良い教育環境ではな
い。

答 複式を解消して環境
を整えていきたい。

問 新型インフルエンザ
の対応につき協議した
か。

答 危機管理については
後日報告した。

問 海外研修の中止は誰
がしたのか。

答 関係校長と判断し
た。

問 教育委員会へは事後
報告でいいのか。

答 前もって相談してい
る。

問 浜坂東小学校のイン
ターネットの通信速度
が遅いと何度も言っ
ているが、意図的に改善
しないのか。

答 9月の更新時に改善
できるよう対処した
い。

問 学校 I C T 環境整備
とは。

答 電子機器の整備で、
51インチ以上のテレビ
が中心である。



パソコン教育が行われている教室 (温泉小学校)

緊急経済対策の補正は

問 この度の補正予算は地域の要望とあっているのか。

答 公共事業の域内循環を意識している。以前から区長等の要望は聞き、大切にしている。工事の受注は、多くの方ができるよう配慮

すべきだ。

答 配慮していく。

問 小規模工事については下請け制限をもうけては。

答 ランク分けをして速やかに対応していく。

問 車両の納入と整備の関係は。

答 車検等は各課の判断でしている。

その他

問 人件費について職員組合との交渉は。

答 人事院勧告の暫定的なものである。一定の合意があった。

問 スポーツ21の補助金の管理実態が不明だ。

答 県の指示で町の推進協議会が管理をし、基金口座でやりとりしている。残金は19年度末で4,800万円。

問 ごみ収集のパッカー車の委託は試算したのか。

答 見積もり書で10年分試算し、5年契約した。

問 農林水産物ブランド化支援事業の総額は。

答 746万円で国が50%、町が10%の割合である。

問 温泉地区の夢ネット地デジ対応は。

答 9月補正で対応する予定であり、約5,000万円かかる。

介護保険事業

問 新型インフルエンザの秋の流行への対応は。

答 現在でも予防対策は継続しており、訪問サービスに重きをおく。

浜坂地区残土処分場

問 ゲリラ豪雨への対応は。

答 平常時から現場で注意している。

問 七坂トンネル残土は終わっているが管理運営は。

答 浜坂道路の計画があり、運営見直しを考えている。いつばいになれば閉鎖する。

簡易水道事業

問 居組・諸寄の緊急通報システムは。

答 入札は終わったので夏の渇水期には間に合う。

下水道事業

問 早く接続の向上をめざせ。

答 利子補給制度を主に戸別訪問をしていく。

水道事業

問 地下水の把握はできているのか。

答 消雪に使用しているが消火栓の出ない箇所があり、水不足を危惧している。



消雪設備の更新が行われた浜坂町内の県道



残り少なくなった浜坂残土処分場

平成 20 年度

公営企業 3 会計決算を認定

病院改革プラン実行と医師確保を求めた

決算審査
意見概要

① 浜坂病院事業

平成 20 年度の浜坂病院の利用状況は、前年度に比して外来患者 2.1% の減、入院患者 4.5% 増であった。

特に本年度は、入院患者受入れ強化策とし、3 階一部を 70 床体制にしたが 2 月再び 55 床に戻した。整形外科は隔週 1 日の診療体制となつている。

医師の絶対数不足から利用率向上になつていない。一方介護老人施設「ささゆり」の入所者数は 6.1% 増と健闘している。

◎ 病院の収支

20 年度決算は、5 千万円補助金を導入しても収支差引 1 億 7 千万円の赤字決算になつている。

今後の課題

病院機能を維持していくため、医療収入増を図ることが重要であり、今般浜坂病院改革プランが策定され方針が示された。全職員一丸となつて取り組むこと。

採決 賛成 13：反対 4
(欠席 1)

【20 年度 病院 4 事業の収支状況】

(単位：千円)

	収入	支出	収支差額
浜坂病院	776,955	947,196	△ 170,241
介護施設	367,062	372,043	△ 4,981
訪問看護	36,186	27,643	8,543
居宅介護	19,028	16,153	2,875
合計	1,199,231	1,363,035	△ 163,804

《主な質疑》

問 花房参事の退職により但馬公平委員会申し出た件、弁明の機会は与えたか。

答 以前から本人と協議してきた。機会を与えたが委員会に出席がなかった。

企業債、他会計借入金の状況

(単位：千円)

	企業債	他会計借入	合計
病院	442,998	290,790	733,788
介護施設	896,917	0	896,917
訪問看護	5,876	0	5,876
合計	1,345,791	290,790	1,636,581

問 公平委員会に申し出たこと自体が問題である。

答 大変遺憾に思っている。反省すべき点はある。

問 分限による処分は、その人の人格を左右される、チームを乱したとのこと何故雇ったのか。

答 和をもって勤務して欲しかった。医師ともよく話し合つて欲しかった。

問 医師確保のいい情報はあるのか。

答 県の課長が来町、県境のメリットを生かす施策が検討されている。

問 地元医師会との協調体制がとれていないのでは。

答 定期的に懇談の場を持つている。

問 住民から信頼を失つた病院をどうするか。

答 長期展望に立って、行政は現実に対応しなくてはいけない。



医師の充実が待たれる浜坂病院

② 水道事業

安全な水を供給するための施設として、住民が健康で文化的な生活を維持するため、必要不可欠の事業である。20年度も上水道においては安定の経営であったが、簡易水道で大幅な使用水量減少により大幅な赤字決算となり、未処分剰余金は1億8,300万円の最悪の状況であった。平成21年度以降の料金改定の方針が出され、必至の状況である。

今後の課題

上水道において、施設の老朽化が見受けられ、今後の施設整備のあり方、償還計画を含めた事業展開を図るべきである。

採決 賛成16：反対1
(欠席1)

《主な質疑》

問 日本一安い水、美味しい水を研究してみたい。

答 ぜひ研究してみたい。経常収支比率が全国平均と比較して高い水準となっているでは。借金が少なく、良好な数字が出ている。

【20年度水道事業決算】

(単位：千円)

	科目	金額	科目	金額	差引損益	未処分剰余金
上水道	営業収益	135,406	営業費用	84,282		
	営業外収益	2,607	営業外費	92		
	収益合計	138,013	費用合計	84,374	53,639	197,283
簡易水道	営業収益	112,032	営業費用	172,103		
	営業外収益	21,669	営業外費	49,593		
	収益合計	133,701	費用合計	221,696	△ 87,995	△ 183,903

③ 浜坂温泉配湯事業

温泉活用による健康増進及び省エネなどの目的で浜坂地域への配湯事業としてスタートし、27年経過し、安定した経営が維持されているが、近年配湯戸数の減少が進んでおり、20年度も7戸減少した。

今後の課題

温泉資源の維持管理の観点から、定期的点検と配湯余力を加味し新規加入促進を図ること。

採決 賛成16…反対1
(欠席1)



20周年を迎えた「ユートピア」

《主な質疑》

問 配湯の住宅を増やす努力はどうか。

答 800戸を目安に推進したい。

問 27年経過しており、老朽化による温度低下など障害が出る。長期的にはどのように考えているのか。

答 本年度2号源泉の改修を予定している。配管の痛みが出ており、温度管理などデータ分析する。

問 山陰海岸ジオパークに関連して、エコの観点からもっとPRしては。

答 温泉の熱利用を含め調査研究してきたが、なかなか難しい。

問 温泉利用の町として、温泉課を設置しては。

答 有効利用を検討したい。

【20年度浜坂温泉配湯事業決算】

(単位：千円)

	科目	金額	科目	金額	差引損益	未処分剰余金
温泉配湯	営業収益	44,525	営業費用	40,674		
	営業外収益	885	営業外費	0		
	収益合計	45,410	費用合計	40,674	4,736	44,572

議員・特別職・一般職員 期末手当の0.2ヶ月減

第23回臨時会が平成21年5月26日に招集され、町長から報告案3件、条例案3件、人事案1件の提出があり、質疑ののち採決しました。(欠席2名)

平成21年5月1日の人事院勧告に準じて、6月に支払う期末手当の額を暫定的に減額するため、次の条例を改正しました。

(参考)

議員、特別職、職員の期末手当は、約3,100万円の減額です。

◎議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例
賛成11：反対5

◎特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例
賛成12：反対4

◎職員の給与に関する条例
賛成10：反対6

質疑

問 介護給付金の課税限度額が9万円から10万円になった。この改正により増収はいくらか。
答 約60万円である。

問 議員の報酬をなぜ町長が提案するのか。
答 人事院勧告に従った。

問 報酬審議会を開催しないのはなぜか。
答 今回は報酬でなく、期末手当だけである。

問 人事院勧告が好きなようである。人事の任命権者の責任はどう

なっている。報酬・ボーナスをゼロにし出直してはどうか。

答 人事は私の専権事項だ。道楽や隠居仕事で業務をやっていない。しっかりと職責を果たしていく。

問 適正な人事を行っているのか。

答 混乱を收拾するための人事である。

問 常勤の特別職の給与を定める方法は。

答 条例に基づいて決めていく。

反対討論(谷口 功議員)

給与条例の一部改正

地域経済が疲弊している時、一人当たり平均9万円の職員給与を減額することが、さらに地域経済の悪化に拍車を掛けることは明らかである。

わずか13・5%の大企業の給与改定を参考にしにすぎない不当な人事院勧告にも相まって町長の一方的な一時金カットの議案提出は、財界の雇用破壊、総人事費削減、賃金削減のサイクルを補完するだけに他ならない。さらに、労働基本権を剥奪された労働者の権利を乱暴に蹂躪するものだ。

この提案は、経済基盤の弱い地域にいつそう追い打ちをかける提案であり反対する。



「筆談ボード」が設置された役場の窓口

委員会報告

総務教育

総務課

①古市ふれあいセンター
建設

老朽化により現在の
場所に建設する。

〔建設概要〕

木造瓦葺2階建

延床面積 130㎡

10月末完成予定

②行財政改革実施計画

〔20年度実績概要報告〕

〔計画効果額〕

3億664万7千円

〔実績効果額〕

2億306万6千円

行政改革効果額の計
画額と実績額との差に
ついては、町有財産の
未利用地等の売却処分
が進んでいないことが
大きく影響している。

問 旧浜坂議会跡地を自

治会の集会所として利
用できないのか。

答 以前から意見をいた
だいてきた中に、集會
所のこともあった。地
元自治会とも協議して
きたなかでは、調整が
つく状況にない。現在、
分筆して売却の計画で
ある。

③職員人事評価実施要綱

この要綱は、地方公
務員法の規定にもとづ
き、職員法の執務につ
いて成績の評定をす
る。背景には、住民ニ
ズの多様化の中で、良
質で効率的なサービス
を提供し続けていくた
めには、その担い手で
ある公務員のあり方、

育て方にも変革が求め
られる。そのため、

①個人の適性に応じた
適材適所の人事、能
力開発。

②自らの長所・短所を
把握して自発的な能
力開発等を促す。

③評価者と被評価者と
のコミュニケーション
を通じて、組織内
の意識の共有化や業
務改善に寄与する。

管理職は21年度から
実施する。全職員への
実施は平成22年から実
施したい。

問 評価する者と、評価
される者との信頼関係
が無ければ職場に不満
が出る。慎重な対応を
求める。また、どこか



旧赤崎小学を校取りこわしてグラウンドに整備

先進事例を参考にし
たのか。

答 この要綱は、適材適
所、業務遂行意欲の向
上、人材育成などを図
るものである。上司が
部下を評価するだけで

企画課

①赤崎コミュニティセン
ターグラウンド拡張工事

問 整備後の管理とプ
ールの対応は。

答 あくまでコミュニ
ティセンターであり、
町の管理となるが、現
状の草刈等は引き続き
お願いをしていく。
プールは今回の事業
対象外。予算を考えて
の対応となる。

②総合計画・実施計画

〔21年度〕23年度概要
基本構想・基本計画
を実施するため、具体
的な施策の内容を示
し、3カ年の計画を策
定するものである。

③情報基盤整備（携帯電
話整備予定）

整備予定地域
町……境地区
民間……
熊谷、伊角地区

④但馬空港等公共交通の
利用実績報告(20年度)

但馬空港 432人
町民タクシー(福祉)
1,639人
町民バス(夢つばめ)
11万2,602人
ゆめぐりバス(鳥取行)
1万2,608人
鉄子の部屋(浜坂駅内)
7,897人

⑤ケーブルテレビ加入状
況(21年3月末)

加入数 2,248件
インターネット
590件

CS 10波

355件

衛星劇場 8件

WOWOW 16件

グリーンch 3件

⑥山陰海岸ジオパーク

「世界ジオパーク
ネットワーク申請候補
地域」にかかる申請書
を21年6月17日に、日
本ジオパーク委員会へ
提出した。

教育委員会

学校教育課

①20年度工事発注状況及
び進捗率の報告

②21年度児童・生徒数

小学校児童 852人
中学校生徒 523人

③温泉地域の小学校再編
経過報告

問 今日までの各会場で
の説明会を終えて結論
的にはどうなのか。

答 6地域7会場で説明
会を実施した。6校と
も22年4月、24年4月
の再編統合については
一定理解を得たと認識
している。再編検討委
員会を設置する旨の話
もしてきた。

問 再編検討委員会の協
議内容は。

答 協議内容は「校名、
校歌、校章・施設整備
通学手段など」である。

特に「校名、校歌、校
章」は21年度中に決定
したい。

④新型インフルエンザ発
生に伴う学校運営の報
告
6月8日以降、各学
校において健康観察を
実施している。

社会教育課

①20年度加藤文太郎記念
図書館の利用状況報告

②20年度先人記念館の利
用状況等報告

③20年度八田「ミニニ
ティセンター利用状況報告

④第23回麒麟獅子マフソ
ン大会報告
今年、新型インフ
ルエンザの影響で、や
むなく中止せざるを得
なかった。

⑤第10回「宇野雪村賞」
全国書道展の報告

⑥21年度「町こどもふる
さと教室」の報告

⑦第5回新温泉町わが町
再発見写真展の報告



マリンポーチ改修「ジオパークの学習施設」

税務課

今後、日本ジオパーク
委員会の審査、現地視察
が行われる。

①20年度及び21年度町税
等の実績報告

問 トラクターなど農業
機械の中で、ナンバー
プレートが付いていな
いの公道を走ってい

るのを見かける。課税
システムはどうなのか。

答 償却済みの物件の中
には確認のできていな
いものもある。以前か
ら申請時に指導をして
いる。

問 山林の固定資産税の
見直しを考えているか。

答 県内なども参考にし
ており据え置きとして
いる。



七坂八峠から望む「居組海水浴場と港」

産業建設

牧場公園課

①来園者の状況、動物飼育状況、施設利用状況報告

5月の連休は好天であり、また、鳥取砂丘の砂像フェスティバルにより増員になったが、その後、インフルエンザの影響により減員になった。

農林水産課

①農地・水・環境保全向上対策事業の取り組み報告

19年度から23年度まで5カ年の事業で、36集落が取り組んでいる。このたび、越坂地区が事業中止となり交付金全額の返金となった。



利用者待つ二尾山農地

②二尾山農地の利用状況報告

農地利用に撤退する農家があり、利用者の減少が報告された。

問 不耕作地が多くなると償還計画に変更が生ずるではないか。

答 利用料も引き下げし農地利用の展開を図つ

てきた。深刻に考えている。

委員会として、町の財政負担も考えたと抜本的な利用方法をさらに検討するよう指摘した。

③基幹作業道開設事業地の選定報告

緊急経済対策の事業で、町有林を基本に3カ所を検討した結果、藤尾地区の林道亀谷線より1,500mを実施する。

④松くい虫特別駆除の実施

1回目 6月5日
2回目 6月25日
ヘリコプターによる散布で実施された。

建設課

①21年度工事の発注及び進捗状況報告

緊急経済対策事業分は、現在、設計中であるとのこと。

②地域活性化・生活対策臨時交付金事業の進捗状況報告

(6月5日現在)

発注 39件
完了 26件

③地域高規格道路―鳥取豊岡宮津自動車道の報告

浜坂道路整備は、平成20年度から28年度予定。これから地元説明会、設計、用地買収等あり、予定通り行けば工事着手は平成24年度からとなる。
延長 9.8 km

商工観光課

①20年度各指定管理施設の事業実施報告

夢公社、ゆーらく館、上山高原エコミュージアム、サンビーチ、ワンニャンハウスの報告を受けた。

その中で、夢公社の単年度1千万円の赤字

については、全体的な利用者の減少によるものであり、独自事業で清算している。

また、ワンニャンハウスのについては、PRの課題と設立趣旨の点検など委員会として指摘をした。

②21年度観光施設等利用状況報告

旧浜坂高校温泉校の跡地利用について、使用者募集要項を定め、9月30日まで募集を行う。現状として1〜2

の問合せがきているとのこと。
問 土地、建物を小分けした貸し出しを考えては。

答 締め切りの9月30日までは変更しない方針である。

環境福祉

健康課

① 20年度国民健康保険事業医療給付費の状況報告

② 20年度各診療所の利用状況報告

③ 20年度老人保険事業医療給付費の状況報告

④ 20年度特定健診・特定保健指導の実施要綱

問 診療所と公立浜坂病院の関係は。

答 診療所の医師が無理と判断すれば、浜坂病院か鳥取の病院への転送となる。現状、医師不足で浜坂病院では夜間の救急患者の受け入れは、午後9時までとされている。

公立浜坂病院

① 公立浜坂病院事業の利用及び経営状況について

て報告

問 医師の減による不安が大きい。今後の対応は。

答 内科医師の減が大きい。患者も2〜3割の減少である。今後の予定は6月19日に県の医務課長と面談予定。7月4日は医師との面接を予定している。

問 現在医師3名での業務であり、患者への対応はどのように行っているか。

答 抜本的な対応はむづかしいが従前とは異なる接遇に心がけている。今後でもできることから進める。

問 新型インフルエンザの対応は。

答 対策として、詳細を豊岡に連絡し指示を受ける。

町民課

① 20年度ごみ及びし尿等の受け入れ状況報告

問 ごみの減少は人口減によるもので、住民のごみへの理解度をどう思うか。

答 ごみの最終処理は行政である。人口減少率は1.6%であり、ごみの減少率は5.4%である。住民の理解によるところが大きい。

② 新温泉町監視カメラ設置要綱の制定

問 監視カメラ映像の取扱は。

答 不法投棄があれば映像は保存する。ない場合は廃棄とする。職員が映像を無断で流出した場合は、地方公務員法により処分を行う。

③ 消費者生活なんでも相談室（仮称）の開設

問 「消費生活」だけでなく「生活すべて」の相談とすべきでは。また、臨時職員は専門職なのか。

答 相談は税、福祉を含む相談を考えている。

職員については、庁内に人材がいないので県で実施する研修を3年間受け、専門性を高めていく。

福祉課

① 介護保険事業の給付、認定状況さらにユートピアの利用状況報告

問 ユートピアは地元利用者が多い。今後の施設の方向は。

答 施設整備は行ってきた。今後とも最小限の整備は実施する。

② 認定こども園・ふれあいセンター入園状況報告

問 保育園を休園したが、保育料の減免はあるのか。

答 減免措置は行う。

上下水道課

① 下水道接続率の報告

担当課が戸別訪問をして、接続のお願いに

務めている旨報告を受けた。

問 加入のための訪問はどの地域が多いのか。

答 主に浜坂市街地と温泉は湯区を中心に訪問している。

② 発注及び進捗状況の報告

問 地元業者の入札参加は無論であるが、納税のない町外業者は異論がある。また、未納税者の扱いは。

答 規模の大きい入札は地元業者の育成のため町外業者とのJV方式も行っている。

滞納者については、税務相談を受けることで参加を可能としている。

問 10%高くても地元業者を優先する制度がでないか。

答 物品については対応している事例があり検討は行うが、最小の経費で最大の効果を上げるのが、入札システムである。総合的には検討してみる。



不法投棄防止「監視カメラ設置」(旧国道178号線)

一般質問

ここが聞きたい

福祉ナンバー1の町を目指して

町長 指摘の点は理解する



西脇 明 議員

問 従来から在宅介護についてもっと手厚くすべきと主張してきたが、具体的施策が見えてこない。在宅介護に欠かせないのがホームヘルパーである。福祉日本一の町を目指して、福祉関係の資格取得に対し、助成制度の確立をしようか。観光で売り出している町が、年々入込客も減少、目先を変えて旅館、飲食、小売りなどすべての接客業にヘルパーの有資格者がいる。福祉にやさしい町をPRする街づくりを目指してはどうか。

町長 町内の有資格者の数を把握していない現状であるが、有資格者育成に県の福祉人材確保対策プログラムなどの利用を考えては、町独自の支援策については、内部調整検討が必要と認識する。

有資格者は相当数おられると思う。いざという時に即対応できるシステムづくりは必要である。

補正予算の
発注状況は

問 2月の補正予算、3月の二次補正とかなりの額がわが町に交付金として入ってきたが、地元業者に発注潤ったでしょうか。とりわけ建設関係では業者間の厳しい競争で収益に寄与できないなど伺って

いるが、どのように理解されているのか。プレミアム商品券の効果はどうか。

町長 今回の緊急経済対策の観点から、多くの業者に参加いただく指名的競争入札を実施し、結果的に過当競争の現実があったと思っっている。全体的には一定の効果はあったと理解している。商品券が手放して効果ありと判断できない。



在宅介護支援施設「ささゆり」



岡本和雄 議員

問 浜坂地域の「まちづくり交付金事業」の内容と事業費の詳細について具体的に説明を。

町長 「しおかぜ通り他2路線の消雪工事」「浜坂駅南北通路」など合計9事業で総事業費が6億8,400万円。

4割が国の交付金と6割が町の負担となる。消雪設備の計画性と地下水の調査は充分にできているか。

町長 住民生活の経済性や流通性が要点となり水源調査はこれから行う。

問 駅南北自由通路は陸橋2基のエレベーターの設計となっているが人と自転車しか通れない。全事業費の6割以上の4億2,500万円の事業費は投資効果的に比較すると同じ事業ならば地下道式がよいのでは。

町長 南北を結ぶことで街の流通と駅前賑わいを取り戻したい。地下道は7億9千万円かかる。

問 車道二車線と歩道の地下式通路は1m

まちづくり交付金事業で活性化を

町長 5年間で成し遂げたい

百万円で鉄道等諸条件を考慮して3倍の事業費として150mの地下道路と関連する施設を含めても5億円程度と思われる。橋やエレベーターは後々の維持費もかなり半永久的な地下道路と駐車場の設置と商店街の創意工夫が活性化には是非共必要要件と思う。

町長 JRの許認可が大前提であり現時点では困難性が高い。

問 浜坂駅から旧鳥取信用金庫交差点の間の歩道の整備は側溝蓋と路側帯をカラー舗装して車道と歩道を明確に区分する事業は歩行者のために大変歓迎されることだが、この際、電柱の撤去と電線類の地下埋設工事も同時に行うのはどうか。温泉地域の交付金事業では行われている。

町長 駅^{ぼうえん}の存在と言うこともあり膨大な費用と

なる。総合的な判断で埋設をしない計画となった。

問 警察跡地のポケットパークに公衆トイレが必要。

町長 あるに越した事はないがコストがかかる。



浜坂駅南北通路が計画されている駅の南側



小林一義 議員

医師確保ができないのは公約違反だ 町長 決して否定はしない

問 改革プランに「地域医療を提供し、医療水準の向上に努める」具体的施策を伺う。

町長 慢性期医療を中心に行っていく。

問 改革を行うために来た二人が退職したのはなぜか。

町長 信頼関係が後退したから。

問 病院内の責任者はどれか。

町長 管理者は私で病院は院長である。

問 医師確保について具体的な対応を示せ。

町長 いま一人の医師と面接の話がある。

問 現状では3名であり、4年前町長選での公約違反だ。

町長 違反という指摘は否定しない。

問 浜坂病院の救急医療体制の現状はどうなっ

ているか。

町長 医師の判断で対応をしている。

問 救急車で運ばれた患者を医師が12時間診ていない、これが医療なのか。

町長 院長は手だてをしたといっている。

問 なぜ検査しなかったのか。

町長 看護師が中心でこなっていた。

行財政改革の成果は

成果は

問 改革プランの総括と運用について伺う。

町長 達成率84%あとは未利用地の売却処分である。

問 25年より実質公債費比率は下がるのか。

町長 事業の縮減と償還の減少で下がる。

問 事業評価は予算に反映して行くことの具体策は。

町長 精査中である。

教育環境の整備

問 全小学校・中学校に太陽光発電で自然エネルギーのエコ改修を行っているのは。

町長 耐震化のあとで検討。

問 国の補助がある。同時に言うべきだ。

町長 よく分かるが理解していただきたい。

問 障害のある幼児・児童・生徒に対する、一人一人きめこまやかな支援が必要だ。

町長 個別の指導計画を作成。

少子化対策は

問 未来を担う子供たちを育てる社会を創るため「安心こども基金」の創設を提言する。

町長 予算化する予定で検討して行く。

問 温泉地域に「放課後児童クラブ」の設置を。

町長 前向きに検討していきたい。

校庭の芝生化をどう進めるのか

町長 地域・PTA・高齢者団体等と協議したい



高橋 邦夫 議員

問 この任期中、様々な提言してきた。とりわけ校庭の芝生化は今年4月より、豊岡市が取り進む報道があった。井戸知事のマネフェストにも含まれているが、今後の予定を伺う。

町長 芝生化は完成後の管理体制が中心となる。そこを認識して、地域やPTA・高齢者団体等と協議の場を設定したい。

「朝ごはん条例」の趣意はこうだ

問 「朝ごはん条例」の

真意を今一度、理解していただきたい。朝ごはんを食べてこない子どもがいるが、その理由はどこにあるのか。また、子どもたちが、命を見つける、命を育てる、その命をいただく。これらをトータル的に教育として、地域の誇りとして教えていくことが趣意である。

町長 学校田もボランティアに支えられてきたが、現実には厳しくなってきた。「地産地消」の観点からも、条例の熟度を向上させて再度、提出していく。

病院に対する意識改革が必要

問 先日の毎日放送の報道は、町のイメージを

著しく低下させた。その原因は町長の公立病院に対する認識が甘かったことにつきる。昨今の厳しい病院環境への意識改革をするためと医師の招へいを主眼として参事を配置したが、病院内外の意識改革は進んだのか。温泉地域にある診療所を含め、身のたけにあった医療、病院の「立ち位置」を辛くとも明確にしなければならぬ。

町長 TV局のストーリーに合った取材方法で、真相の問いあわせの事実があった。就任前の公立病院への認識より、現実には想像以上に厳しいものであったが、どのような形態になろうとも病院は継続

しなくてはならない。その上で、医療マンパワーの充足に更に努力を続けていく。そのことで、浜坂病院に対する住民の満足度をあげてゆきたい。「立ち位置」は認識を合わせた

町長の姿勢をただす

町長 出来る限りの対応はしている



西村 銀三 議員

問 ケーブルTVの80%の署名を無視してき

た。一方合併後町名を再検討するという、町長お得意の議決すら無視している。すべてを町長が決めるということになるが。

町長 浜坂エリアの人達すべてが、ケーブルTVが不要とは考えていない。町名の再検討は議員が提案してもらったらよい。

問 住民との間で交わされた覚書、念書、契約などが198件あったというが、その後何件解決したか。

町長 何件解決したか掌握していない。

問 町民の皆さんからの質問、苦情、投書などにどのように対応しているか。

町長 企画課では文章、総務課は口頭で返事をしてる。



少年野球・地域にも利用される校庭（浜坂南小学校）

問 わが町では臨時職員
の採用面接にもすべて
町長が立会っている。
他町ではあまり例がな
いが。

町長 特定の人を採用す
るために恣意的にやっ
ていない。

問 温泉総合支所長の
役割がよく見えてこな
い。かざりになってい
ないか。又、村の副区
長をしているが改める
べきだ。

町長 できる限りの対応
はしている。

景気対策に手を打て

問 湯村は宿泊客は昨年
度18万人まで落ち込み過
去最悪だ。先日は土建
業者が倒産した。対策
は。

町長 元気づける具体的
予算支援を順次考えて
いる。

問 日本では、子供の17
人に一人が母子家庭の
子であり、わが町でも
増えている。父子家庭
も含め支援を充実すべ
きだ。

町長 母子家庭116、
父子家庭4となつてお
り、検討していく。



観光客の増加対策が求められる湯村温泉

浜中の耐震補強工事は

町長 6月15日に入札する



岡坂峰雄 議員

問 浜坂中学校の耐震補
強工事の入札が延び々
になっているが何が原
因か。設計図書の不備
と聞くが。

町長 設計管理者の不備
も有り、余り例を見な
い特殊な大規模工事で
有るとの認識が行政と
しても欠けていた。

問 新築工事と異なりこ
のような特殊工事には
よほどの知識と経験を
要する。施工入札参加
業者の真疑に適確にこ
たえ施工最適時の夏休
みを念頭に早期入札を
行うべきだ。

町長 入札業者の疑問点
に的確にこたえられな

かったのが要因でもあ
りそれ等を精査し6月
15日に入札執行する。

入札最低価額

設定は

問 経済不況に伴い公
共事業の激減により業
者は損得度外視の低価
額入札があり、国・県
又近隣市町も最低制限
価額率を公表している
が当町は設定しないの
か。

町長 本年5月よりこの
制度を導入している。
問 導入しているのでは
有れば公表すべきだ。

副町長 5月14日の入札
から適用しているが公
正な入札の確保の視点
から一年間様子を見て
公表を決定したい。

インフルエンザの 被害と不況対策

問 インフルエンザの影
響での町内企業種の
財政的損失は。

町長 特に観光産業が大
きく5月24日時点で
6件36人のキャンセル
で約7千万円の損
失と聞く。

問 この不況対策はどの
ようにするのか。

町長 地域元氣回復事業
を活用し関係団体と協
議している。

問 定額給付金のプレミ

ア商品券の発行を求め
たが固辞から発行に急
変したがどのように総
括するのか。

町長 遅れたのは行政の
誤りであった。

東小学校の パソコンは

問 9月に機械更新と共
に他校におとらぬよう
にするとの答弁だった
が。

町長 その通り答えたの
で努力はするが課題も
有るのでそれをクリア
して進めたい。



町の活性化に向けて、地元就職者激励会
(浜坂商工会館)

新町の名称など点検

町長『ただし書き』は議員提案で



寺谷 健 議員

問 合併から4年目を迎え、社会情勢も大きく変わってきた。

合併協定項目・新町まちづくり計画の点検を行い、次の町づくりを生かすよう求める。

①「新町の名称は、新温泉町とする。ただし、合併後検討する」を町長は提案し、議会の議決を経て整理すべきだ。

②町民憲章、町花、町木、町鳥などの制定

③新町まちづくり計画のケーブルテレビ事業（光ケーブル網）の方針

④防災のため、岸田川の

町長

①合併は、両町歩み寄りの結果として実現したわけであり、提案する気持ちはない。議員も住民本意であり、議員提案もできる。

②町花、町木、町鳥、町歌は、本年度に予算計上しており、住民の皆さんの参画のもとで制定していきたい。

③農林水産省の農山漁村活性化支援交付金が一番良い思いだが、他の省庁の補助メニューも研究しており、早く方針を示したい。

4年間の質問・提言を点検

問

質問・提言のうち、対応されていない事項を点検する。

①防災のため、岸田川の

堆積土砂の撤去

②安心安全のため、消火栓の増設

③ごみの減少化に向け、その他紙製包装容器の回収手数料の引き下げ

④火災残渣の処理体制

⑤湯村北駐車場のトイレを向町側に整備

町長

①新温泉町土木事務所に現地確認をいただき、対応できるものは積極的に

的に対応して行く旨回答いただいております。

②本年度、居組に1件計画、他の要望箇所は調整して増設したい。

③環境保全推進協議会で検討いただき、当面現行どおりとする。

④研究したが、産廃業者に頼るより妙案がない現状である。

⑤平成19年度に改修し、まちづくり交付金事業での整備は断念した。



堆積土のため川底が掘れた岸田川（井土付近）

福祉対策は

町長 マンパワーで充足に努める



西村 公子 議員

問

新温泉町も高齢化率も高くなっている。相談窓口になっ

ている地域包括支援センターの職員数は充足しているのか。

町長

要請もあるので専門職の早い充足に努める。

問 高齢者の安心安全と地域包括支援センターの責務を明確にすべし。

町長 個別ケア、集团的

ケア、相談業務、リスキの高い方々への対応。健康づくり講演会、ひとり暮らしのつ

どい等に全力傾注していく。

問

わが町は住みやすく暮らしやすい町だと思っていただけの施策の展開を求める。

町長

高齢者の方々の意向を把握し理解していただけるよう支援をしていく。

新型インフルエンザ対策は

問

新温泉町で一人も感染者が出なかったことは幸いであった。情報は幸いであった。情報提供（CATV）は万全であったのか。

町長

確かに広報伝達に的を得ていないとの指摘もある。不測の事態に対応し得る町づくり

に努力する。養父市のCATVと比べると取り組みは十分でなかった。

問 秋以後の流行についても心配要素もあり懸念されている。今後の対策はどのように考えているのか。

町長 兵庫県の対策計画に沿い新温泉町の新型インフルエンザ対策計画を策定する。迅速に対応できる行政であることが重要であり行政としての責務である。



在宅介護をささえる包括支援センター（役場内）

情報発信の基準を明確にせよ

町長 自治体の判断で行う



谷口 功 議員

報によって、住民が混乱しないか吟味する必要がある、その基準が不明確だということを指摘している。

町長 それは議員の判断だ。

不況対策は住民本位に行うべきだ

問 緊急経済対策が住民の営業や暮らしを支えるものになっているか。

町長 町内業者中心の発注に心がけている。

問 一つの問題が、公契約のあり方だ。使用者も労働者も運命共同体として、必要な経費も労働者の賃金も適切に確保されたうえで

約であるべきで、安ければよいというものではない。

町長 業者の間の自由な競争が行われている。町内業者の育成、振興に努めている。

問 公正で自由な競争は良いことだが、ダンピングがあると指摘されている。ダンピングのつげは、労働者をより安く使うことに直結していることを指摘している。

町長 実態を把握し、適切な契約を実施している。

高齢者・障害者生活保護者のバス料金無料制度を

問 国、県の福祉制度が大きく後退し、不況と相まって生活困難をきたしている中、せめてバス無料制度を実施すべきだ。

町長 この制度実施となるとバス運営が困難になる。

問 バス収入は現状でも運営費の25%程度である。まして対象者のバス利用はわずかでであり、数万円の単位ではないか、町長の決断でできることだ。

町長 ご指摘は否定するものではない。一方で、

問 住民の生命、財産を守る情報とはどのようなものか、逆にその情

町長 緊急時の行政放送操作マニュアルを定めている。国からミサイル発射実験情報伝達の事前連絡があり、取り扱いは自治体の判断で行うものだ。



通院の足「町民バス」

持続可能なバス運営を3ヶ年の実証運転の中で対応を検討していきたい。

引き続き町政担当の責務がある
町長 目下、冷静に考慮中である



幸賀 毅 議員

問 町政の現状を人間に擬して診断すると『町村合併後遺症』と命名したい。不幸な難病を専ら「対症療法」に終始してきておつて肝心な「原因療法」に気付かぬまま不毛の論議を重ねてきたと断ぜざるを得ない。

重要課題であるCATV事業に対する慎重派も推進派も町長も共に合併行政の被害者である。その責めを負うべきは国であり、随伴責任を負うべきは県であると論考・総括する。斯かる状況を踏まえて引続き町政担当の責

務が理事者 町長には課せられていると思うが、そこにはCATV事業の一定の整理と展望を示しての条件整備が求められている。出馬に向けての心境を問う。

町長 町長職に何が求められているかを自らに問い直してみる中で、目下冷静に考慮中である。

問 一定の整理と展望への提言であるが、直截に申し上げ合併を強要した国に推参、直訴を断行すべき唯一の道が残されていると思われるが、その決意有りや否や。

時は正に、地方分権の時代、国と地方は対等の筈。ましてや役人



あれから4年（合併協議会）

に翻弄されることがあつてはならない。『新温泉町成って、日本国成る』の気概と誇りを持って乾坤一擲「義を見てせざるは勇なきなり」、胸を張って御上

直訴断行の決意を重ねて促し、以て出馬へ環

境を整え責務全うへの心情について迫真の回答を求める。

町長 御上直訴も云われてみれば一つの手法かなと思うところである。



さし絵 清水伸子氏



西岡 不二男

東京都在住
(居組出身)

浜坂高校を卒業してから近畿大学、高知大学、東京農業大学、水産庁中央水産研究所、富山県食品研究所を歴任し、水産加工分野の研究を40年以上続ける中で、漁業や水産加工業の見聞も深めることができた。築地市場近くに居を構えたのは、居組で漁業を営み、魚の顔を見ながら育ってきたことが血肉になったからであろう。狂牛病の発生以来、世界中の人々が魚に注目している。早朝に競が始まる築地市場が外国人観光客の人気スポットになるといって、世界に例を見ない珍しい現象が起こっているのはその証でもあろう。

故郷の発展を願って

たまの帰郷だが、増え続ける空き家が気になり、旧友と一献傾けながら振興談義をし、漁業を町の基幹産業と位置付け周辺産業の育成を町が積極的に図るべきだと述べるが、情報や知見を持たない級友たちであり、議論が盛り上がりたままに帰京するのが常である。

香住港は全国有数の漁港で33港にもその名があるが、浜坂港の水揚げ量も肉薄すると聞くし、松葉ガニのブランド化事業を東京で行うと聞く。知恵と工夫を要するだろうが、成功することを祈りたい。加えて、富裕層が1億人も居る中国への輸出、底引き網で獲れる魚の寿司種化、漁業の省力化、冷凍技術の開発など、課題の提案には枚挙に暇がない。

漁業や農業は行政の強い後押しがないと消えてしまう産業であるし、行政が明確な方針を打ち出せば国も支援を惜しまない時代である。最後になつたが、新温泉町が人であふれ、活気ある町に蘇えることを願ってやまない一人でもある。

議事日誌

- (4月) 28日 広報調査特別委員会
- (5月) 8日 環境福祉常任委員会
" 広報調査特別委員会
18日 総務教育常任委員会
21日 議会運営委員会
26日 第23回 臨時会
- (6月) 4日 議会運営委員会
9日~19日 第24回定例会 (11日間)
- 12日 産業建設常任委員会
15日 環境福祉常任委員会
16日 総務教育常任委員会
17日 議会運営委員会
19日 "
- (7月) 1日~3日 管外行政視察研修 (新潟県・長野県)
- 7日 総務教育常任委員会
" 議会運営委員会
8日 広報調査特別委員会
13日 第25回 臨時会
14日 広報調査特別委員会

トピックス

- ▼本号は6月定例会・臨時会、補正予算・決算認定、質疑・答弁を中心に編集しました。
- ▼梅雨空の下、一段と暑さが厳しさを増しています。今月は夏祭りがそれぞれの地域で開催されます。浜坂地域は但馬3大祭りの一つ川下大祭が温泉地域では荒湯天狗祭が多くの交流人を迎えおごそかに行われます。
- 町の起爆剤となり、にぎわいを期待したいと思います。
- ▼ふるさと寄稿へ執筆いただきました西岡不二男様ありがとうございました。
- ▼兵庫県知事選挙も終り、井戸敏三知事が3選を果たされましたが、地域格差をなくして誰もが住みやすい町づくりを期待したいと思えます。

広報調査特別委員会

委員長 西村公子 健 要 義 明 之
副委員長 寺谷田中 小林一 西脇 俊
委員 小林 俊

発行者 議長 田村 昭